

第11回「総合的な学習の時間」

探究活動を進めよう



芝浦工業大学柏中学高等学校

本時の内容

1. LIFEログ
2. 探究活動を進めよう

本時の内容

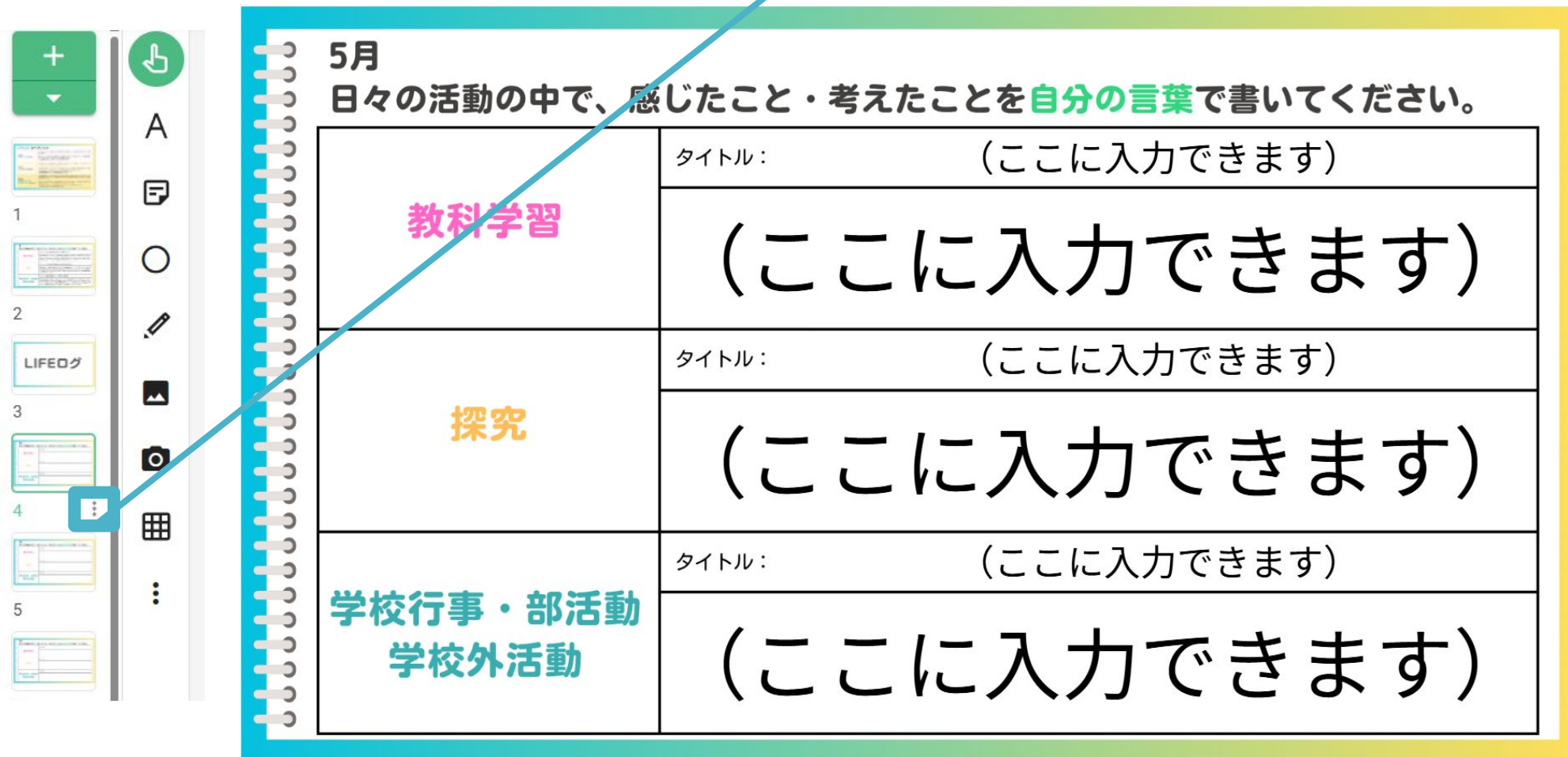
1. LIFEログ

2. 仮説について

LIFEログの実施イメージ

足りない場合は「複製」して自分で追加する

「月末に3つの欄を完成させる」ために、「毎回の授業で10分程度」の時間をとる



5月
日々の活動の中で、感じたこと・考えたことを自分の言葉で書いてください。

教科学習	タイトル: (ここに入力できます)
	(ここに入力できます)
探究	タイトル: (ここに入力できます)
	(ここに入力できます)
学校行事・部活動 学校外活動	タイトル: (ここに入力できます)
	(ここに入力できます)

本時の内容

1. LIFEログ

2. 探究活動を進めよう

2. 探究活動を進めよう

探究ノートの「日々の活動記録」について

毎回、活動記録は書くこと

中学27期 (中2総合学習)		探究ノート					
チーム番号		クラス	2 -	番号		氏名	
共同探究者							

↑ チームメンバー全員の組番号と氏名を記載 (例: A01 芝浦 太郎 B20 柏 花子)

【日々の活動記録】(①を授業開始時に、②③を授業終了時に記入)

日付	活動記録 ①本日の予定・目標 ②本日の活動内容 ③次に行うこと、次までに行うこと
(例) 5/2	①本日の予定・目標 ・「公共交通機関」について基本的な情報を集める ・鳥取県のバス路線の現状を調べる ②本日行ったこと ・インターネットで鳥取県のバス路線の廃止についての記事を読んだ ・公共交通の役割や問題点について簡単にまとめた ③次に行うこと、次までに行うこと ・バス路線が廃止される理由を詳しく調べる ・他の地域の取り組み(成功例)についても調べる

★作成のポイント★

毎回、活動記録は必ず書く！

①本日の予定・目標

②本日の活動内容

③次に(次までに)行うこと

授業開始時

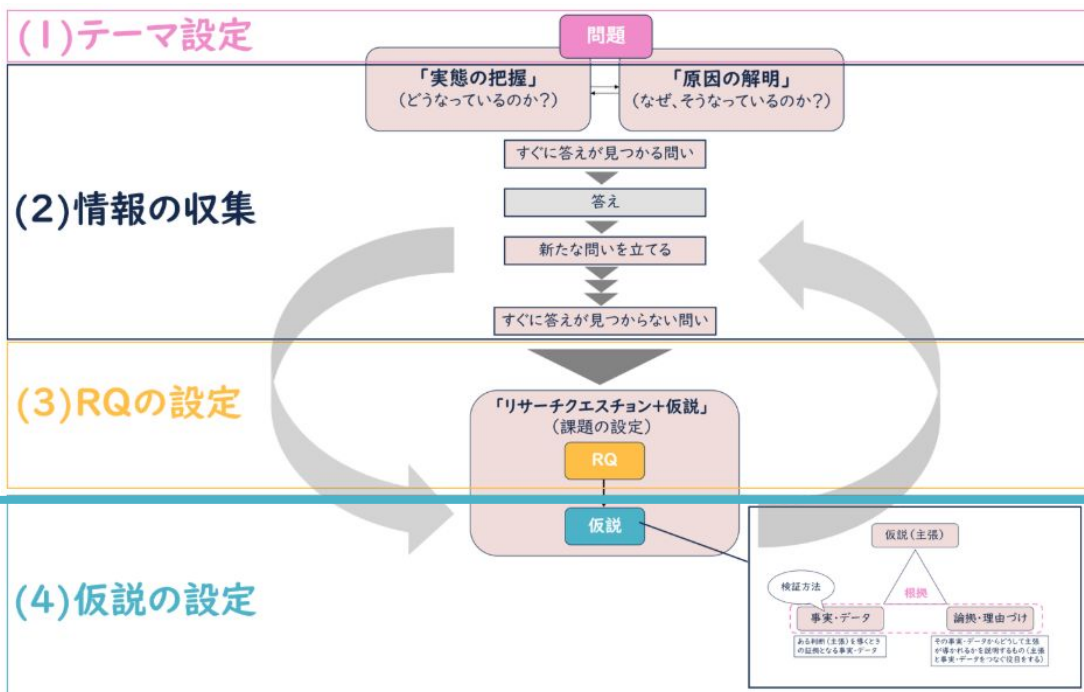
授業終了
10分前

個人でまとめるワークシートで、
その他の使い方は自由です。

2. 探究活動を進めよう

現在地

現時点では、以下のところまで



(1) テーマ設定

探究テーマを設定する。

(2) 情報の収集

探究テーマに関する先行研究を調べ、「問い」を立てる。

(3) RQ(リサーチエスチョン)の設定

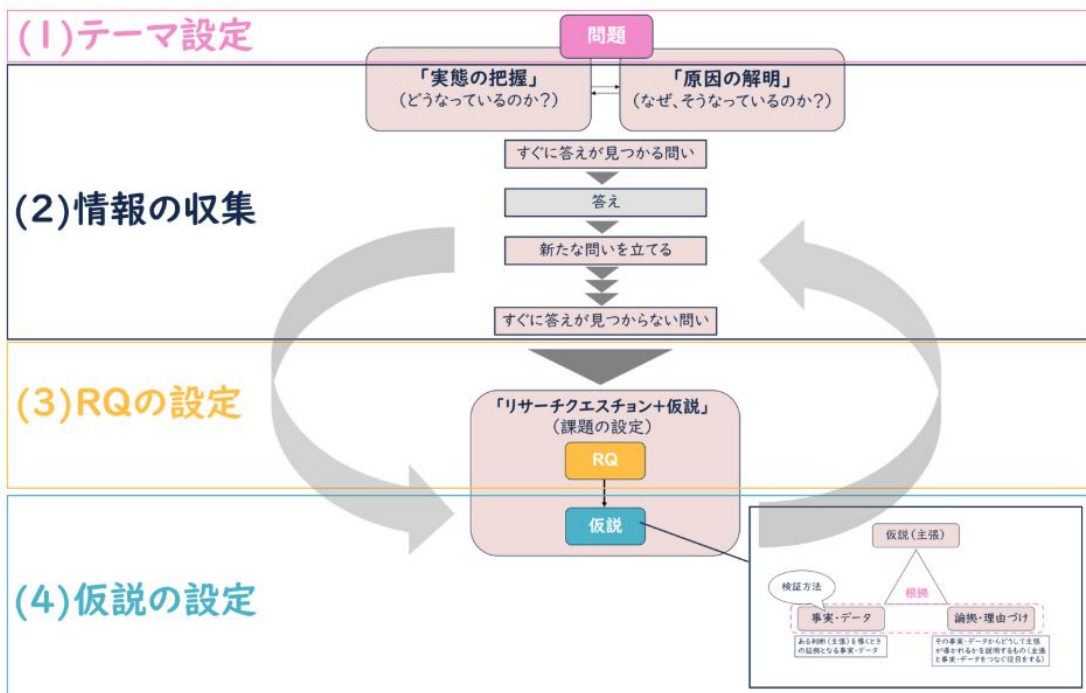
「問い」をもとに、リサーチエスチョンを立てる。

(4) 仮説の設定

1. リサーチエスチョンに対して「仮説」を立てる。
2. 仮説検証のための検証方法を検討し、計画する。

2. 探究活動を進めよう

計画を立て、「探究計画書兼報告書」にまとめる



(1) テーマ設定

探究テーマを設定する。

(2) 情報の収集

探究テーマに関する先行研究を調べ、「問い」を立てる。

(3) RQ(リサーチクエスト)の設定

「問い」をもとに、リサーチクエストを立てる。

(4) 仮説の設定

1. リサーチクエストに対して「仮説」を立てる。
2. 仮説検証のための検証方法を検討し、計画する。

調査を実施して、仮説を検証する。

調査結果をもとに分析・検討・考察し、まとめる。

報告

2. 探究活動を進めよう

今後の流れ

下記の内容をまとめた報告書を「チームで1枚」作成する

- (1) 探究テーマ
- (2) 問題の背景
- (3) 目的・意義
- (4) 研究方法
- (5) 結果
- (6) 考察・結論
- (7) 今後の展望

9/8まで

ここまでの内容を

9/8探究計画報告会

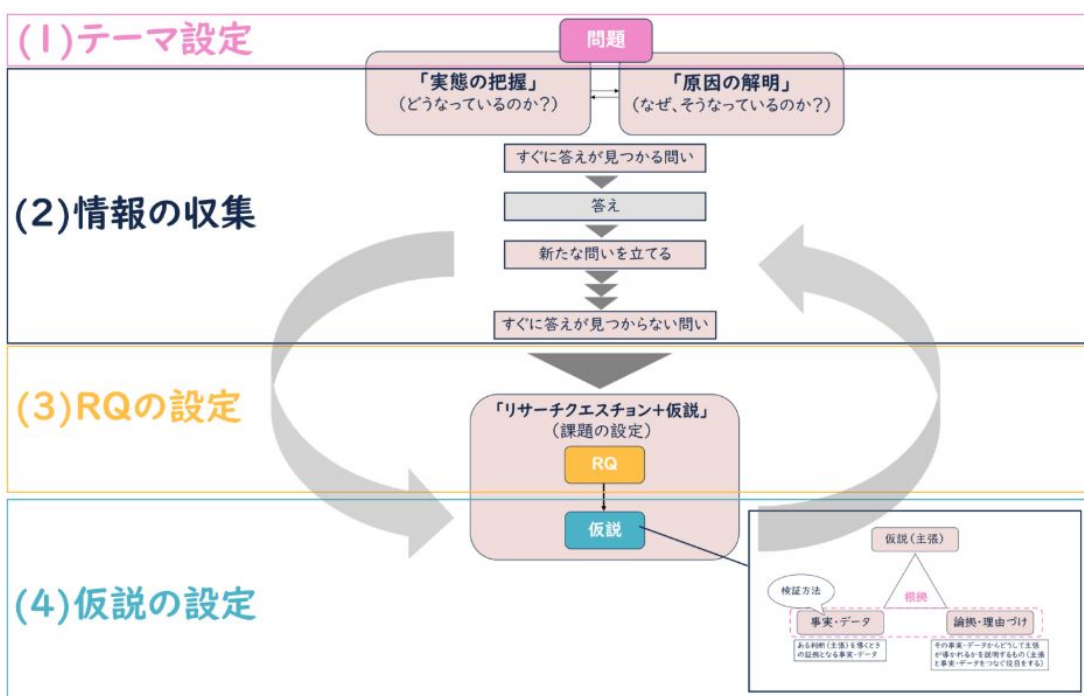
1月中旬まで

中学27期 総合学習		探究計画書兼報告書
チーム番号	探究者氏名	
※チームメンバー全員の氏名を記入		
具体的な計画・実施・まとめを記録するシートです。一つの計画の実施が終わったあとで、さらに新しい計画を実施する場合には、その都度、このシートに記入します。		
(1) 探究テーマ		
(2) 問題の背景 (動機やテーマについての先行研究、一般的な理解など)		
(3) 目的・意義		
①リサーチエスチョン		
②意義		
③仮説(現段階でリサーチエスチョンに対してどのような答えがあると予想しているか)		

2. 探究活動を進めよう

本時の活動

本日は、探究活動をすすめる。



(1) テーマ設定

探究テーマを設定する。

(2) 情報の収集

探究テーマに関する先行研究を調べ、「問い」を立てる。

(3) RQ(リサーチエスチョン)の設定

「問い」をもとに、リサーチエスチョンを立てる。

(4) 仮説の設定

1. リサーチエスチョンに対して「仮説」を立てる。
2. 仮説検証のための検証方法を検討し、計画する。

探究計画報告会までの授業予定

探究計画書兼報告書を進めよう。

第11回(本時)	(1) 探究テーマ (2) 問題の背景 (3) 目的・意義 (4) 研究方法 を決定 探究計画書兼報告書を完成させる！
第12回	探究計画書兼報告書の見直し 発表練習
第13回	探究計画報告会

夏の宿題

研究背景を強くする「文献(=図書あるいは新聞)」を探そう！

なぜ文献なの？

- 信憑性が高く、社会の関心が高い事実・データを引用すると、研究背景の説得力や切実性が増すから。

探すポイント

- 事実・データ：自分のテーマに関する現状や、起きている問題の数字。
- これまでの取り組み：国や自治体、企業がすでにどんな解決策をとっているか。

宿題のゴール

- 見つけた記事の内容を、探究計画書の「(2)問題の背景」に書き加えよう。
- RefNaviでカスタムタグをお忘れなく。

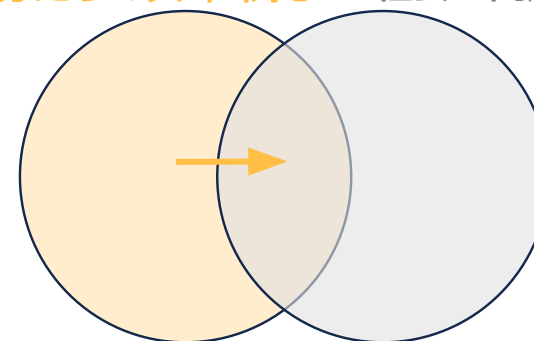
2. 探究活動を進めよう

自分たちの興味・関心 社会の問題



情報源の種類と信憑性

新聞は「社会の関心や課題」が扱われる



利点

気をつけるべき点

図書



- ・**信憑性は高い**
(編集段階で情報が精査されているため)

- ・編集者や出版社を経由しないで出版できる仕組みもあり、信憑性の判断には注意が必要

新聞

日経電子版
の活用

- ・**社会の関心**がわかる
- ・時事や幅広い分野のニュースを取り扱っている
- ・地方紙はその地域の情報に強い

- ・同じトピックでも、新聞社によって書き方が異なるため、比較が必要

Webサイト



- ・速報性は極めて高い
- ・手軽に入手できる

- ・**信憑性の判断には十分な注意が必要**
(誰でも情報が公開できるため)
- ・公開後、消えてしまう可能性あり

探究Dayプロジェクトチームのメンバー募集

探究Dayの企画・運営の中心になってくれる人を募集します！

探究Day 芝浦工業大学柏 中学高等学校

ともに学び、
ともに深める。
だから、
探究はおもしろい。

2025年11月8日(土)
小・中学生の部 9:30~12:00
高校生の部 13:30~15:50

内容
ポスターセッション形式による探究成果発表会
(探究の途中経過を発表することも歓迎いたします)

発表対象者 小・中学生・高校生
観覧対象者 小学生・中学生・高校生
教育関係者・保護者

お問い合わせ
芝浦工業大学柏中学高等学校
〒277-0033 千葉県柏市勝尾 700
TEL:04(7174)3100
e-mail:koshinot@kashibaura-it.ac.jp
探究科主任 藤野貴嗣

当日の詳細
発表申込はこちら
申込期限10/11(土)

当日の詳細
観覧申込はこちら
申込期限11/1(土)

主な内容

- 開会式、閉会式等、当日の企画・運営
- 今後、昼休み等の時間を使って、ミーティングを行います
- 何かあれば、中学校務センター越野まで

※希望する人はClassroomの募集フォームから申し込んでください。

研究計画書兼報告書チェック項目

(2)問題の背景:1つ以上の文献を引用し、事実データに基づいて書かれている。

(3)目的・意義

①リサーチクエスション:調べたらすぐにわかる問いになっていない。先行研究を踏まえており、客観的に証明が可能な問いになっている。

②意義:RQを明らかにすることによって、社会において誰の・何の役に立つのかが論理的に述べられている。

③仮説:1つ以上の文献を引用し、事実データに基づいて書かれている。

(4)研究方法:RQと仮説を踏まえて、関連性の高い文献や施設を具体的に調べてリストアップすることができている。

研究方法について

現地調査とは？

中2の総合的な学習の時間の探究活動においては、**リサーチクエストに関する見聞を広めるために博物館や公園などへ見学に行くこと**を指します。

◎良い点	△注意点
● グループのメンバーでの活動だけでは認識できなかった問題の側面や実態を把握することができる。 ● 文献のみでは理解が不十分な部分を補うことができる。 ● 視覚的にわかりやすい資料が多く、「調べたことをどう見せるか、伝えるか」という観点で参考になる。 ● 偶然の発見がある(例:イベントで学芸員の方とお話する機会があり、質問することができた)。	● 見学した施設で得た知識を一般化して語れるかどうか議論をする必要がある。 ● 主観的にならないように注意が必要である。